

取扱説明書

黄銅製アングル弁

V-81B



株式会社 宮入バルブ製作所
MIYAIRI VALVE MFG. CO., LTD.

目次

	ページ
1. 概要 3
2. 製品名 3
3. 使用範囲 3
4. 構造と特長 3
5. 運搬および保管 4
6. 取付要領 4
7. 使用上の注意 4
8. 点検および保守 4
9. アフターサービス 4
10. 構造図 5

はじめに

この度は、宮入バルブの製品をご採用いただきまして、まことにありがとうございます。
本取扱説明書を良くお読みになり、内容を理解された上で本機器をご使用下さいますようお願い致します。
また、必要に応じて利用できるよう、お読みになった後も手元に置かれることをお勧め致します

1. 概要

本製品は、主に LP ガスプラントの配管用弁として製作されております。

2. 製品名

(1) 品名	黄銅製アングル弁
(2) 型式	V-81B
(3) 図面番号	B-17788-05

3. 使用範囲

(1) 使用流体	LPガス(液・ガス)
(2) 設計圧力	1.8MPa
(3) 設計温度	-10~70°C
(4) 耐圧試験圧力	3.0 MPa
(5) 気密試験圧力	1.8MPa
(6) 接続仕様		
① 入口(配管接続側):		W29.5 山 14 テーパー 3/26(JIS B 8425 V2)
② 出口:		W22.5 山 14 左(POL めねじ)
(7) 本体材質	C3771B

4. 構造と特長

- (1) 本体には耐食性に優れた黄銅材を使用しております。
- (2) 入口、出口の接続ねじは、「JIS B 8425 液化石油ガス容器用弁」に適合しております。
- (3) ハンドルの開閉方向は、ハンドルにも表示しておりますが、開は左回り、閉は右回りです。
- (4) グランド部は O-リングを二重にし、外部への漏れを防止しております。

5. 運搬および保管

- (1) バルブを落とす、投げる等の乱暴な取り扱いで、強い衝撃を与えないで下さい。漏れ、故障の原因となります。
- (2) 運搬及び保管は、荷姿のまま、ゴミ、ほこり、雨等がかからないようにして下さい。

6. 取付要領

- (1) 配管のバルブ取付部ねじ、ならびにバルブねじ部を清浄にしてください。特にねじ部にキズ、打痕などがある場合、ねじのかじりやガス漏れの原因になります。
- (2) ねじの締め付けトルクは、シール剤の種類などにより一様ではありませんが、適正なトルクで漏れの無いように締め付けてください。締め付けトルクが $390\text{N}\cdot\text{m}$ ($40\text{kg}\cdot\text{m}$) を超えますとバルブ損傷の恐れがあります。
- (3) バルブ取付には適正なスパナを用い、バルブのスパナ掛け部に正しくスパナを掛けて締め付けを行ってください。パイプレンチは使用しないでください。

7. 使用上の注意

- (1) ハンドルを開ける場合は、全開より半開転ほど戻してご使用ください。
- (2) 過大なトルクでの、ハンドルの開閉は避けてください。破損または機能の低下となります。
- (3) 出口ねじの磨耗、シール面の傷の有無を点検してください。これらの欠陥があると、ガス漏れの原因となります。
- (4) 外部から出口に衝撃を与えないでください。変形により接続ができなくなります。
- (5) 出口側を使用しないときは、出口側に専用キャップを取り付けてください。

8. 点検および保守

設備の運転開始時、運転終了時、および運転中に以下のような点検を行って下さい。

- (1) 外部漏れを点検し、漏れが有る場合は新品と交換してください。
- (2) ハンドルの開閉がスムーズに行えるか点検し、異常がある場合は新品と交換してください。

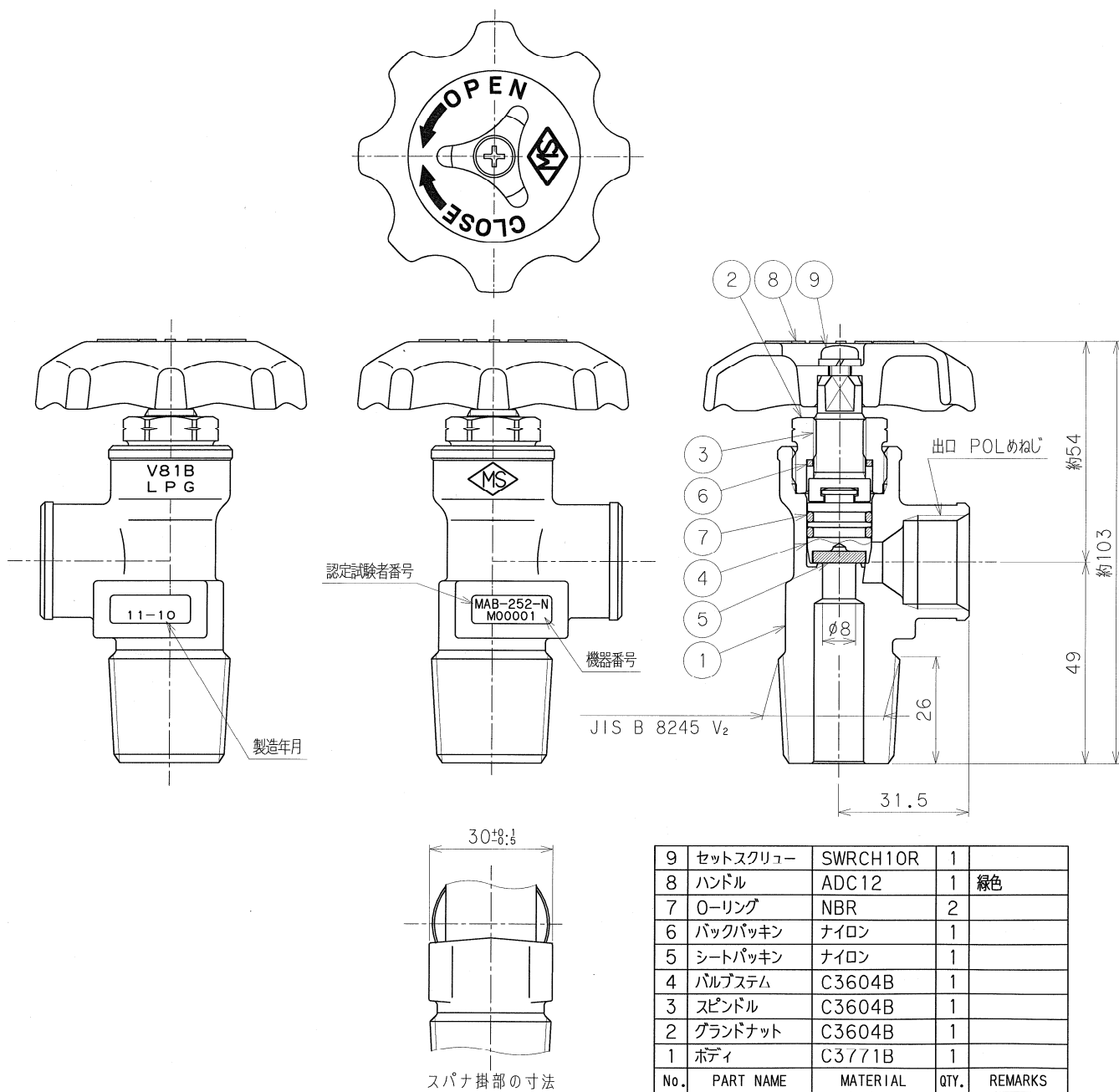
その他、高圧ガス保安法の直轄下で使用されるバルブは、法規上の規定に基づき検査を実施してください。

9. アフターサービスについて

- (1) 製品に異常が生じた場合
- (2) 製品の修理が必要な場合
- (3) 交換部品が必要な場合

上記のご相談は、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせ下さい。
※型式・サイズ・図面番号等をお知らせ下さい。

10. 構造図



本製品についてのご質問、及び定期点検のご相談、ご依頼は下記の営業所までご連絡ください。



本 社	〒104-0061	東京都中央区銀座西 1-2	(Tel) 03-3535-5575	(Fax) 03-3567-6834
甲 府 工 場	〒400-0206	山梨県南アルプス市六科 1588	(Tel) 055-285-0111	(Fax) 055-285-3284
札幌営業所	(Tel) 011-786-1110	(Fax) 011-786-1120	名古屋営業所	(Tel) 052-951-3860 (Fax) 052-951-3862
仙台営業所	(Tel) 022-295-4670	(Fax) 022-295-4671	大阪営業所	(Tel) 06-6541-8711 (Fax) 06-6541-8718
東京営業所	(Tel) 03-3535-5571	(Fax) 03-3567-6834	九州営業所	(Tel) 093-921-0981 (Fax) 093-921-0984